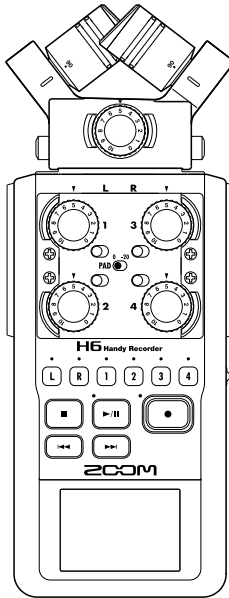


# ZOOM®

# H6

## Handy Recorder



## クイックガイド

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOM の WEB サイト ([www.zoom.jp/docs/h6](http://www.zoom.jp/docs/h6)) からダウンロードできます。このページには、PDF 形式と ePub 形式のファイルがあります。PDF は、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。ePub は、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式で電子書籍リーダーで読むことができます。

© 2020 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

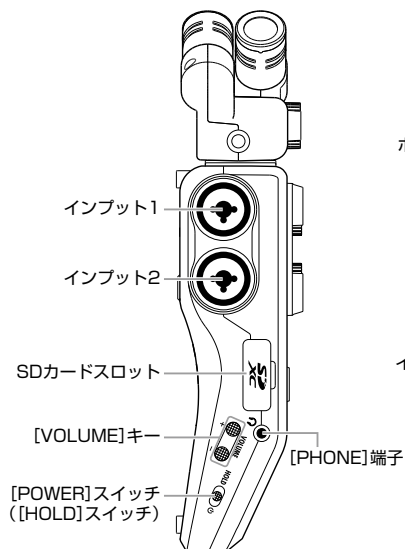
文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

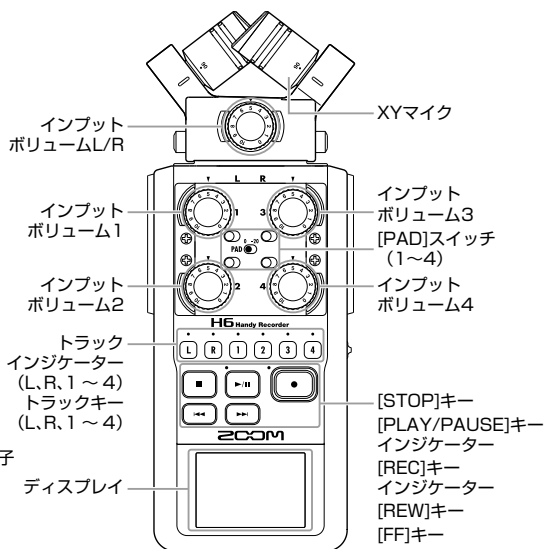
本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

# 各部の名称と接続

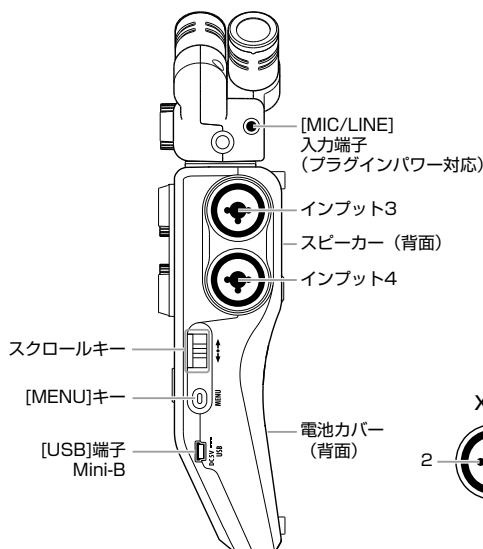
## ■左側面



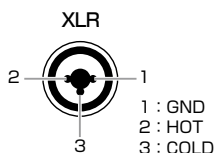
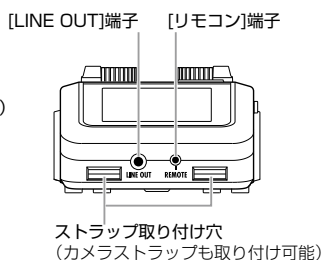
## ■前面



## ■右側面 (背面)

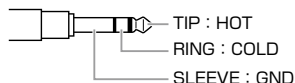


## ■底面

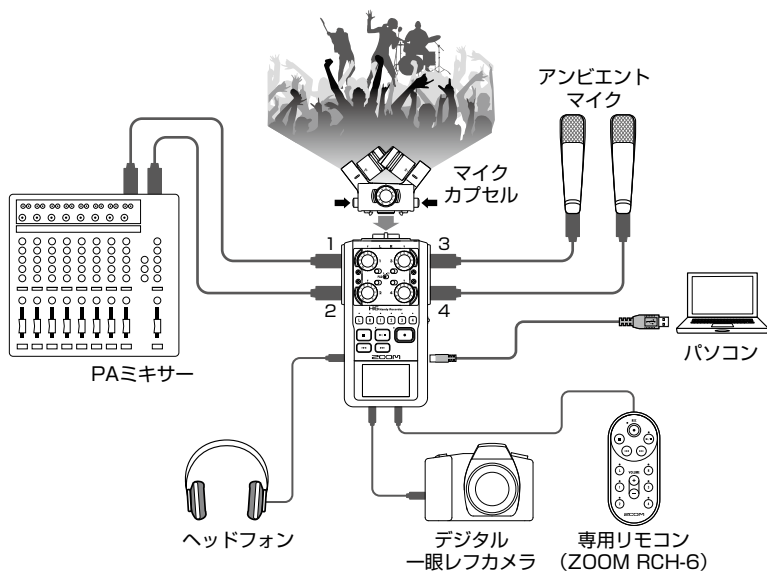


1 : GND  
 2 : HOT  
 3 : COLD

## TRS



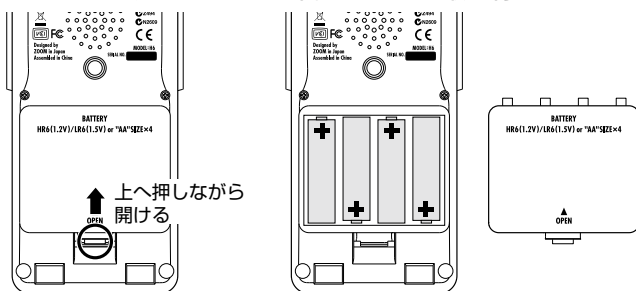
## ■接続例



## 準備

### 電池を使用する

#### 1. 電源を OFF にしてから、電池カバーを開けて電池を取り付ける



#### NOTE

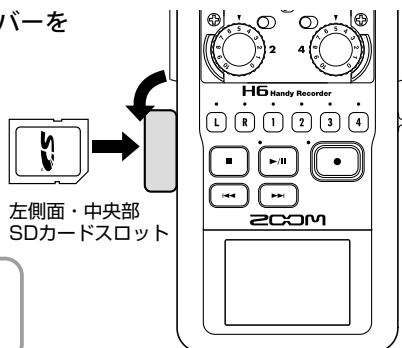
- ・アルカリ乾電池またはニッケル水素蓄電池を使ってください。
- ・電池残量を正確に表示するために、MENU>システム設定>電池設定から、電池の種類を設定してください。

#### HINT

[USB] 端子に専用の AC アダプター (ZOOM AD-17) を接続すると、AC 電源を使用することもできます。

## SD カードのセット

1. 電源を OFF にしてから、SD カードスロットカバーを開けて SD カードを挿し込む



### HINT

取り出したいときは、SD カードを一度スロットの奥に押し込んでから、引き抜いてください。

### NOTE

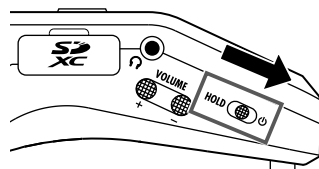
市販の SD カードや、他のパソコンで初期化された SD カードを使用する場合は、最初に **H6** で初期化する必要があります。SD カードの初期化は、MENU > SD カード > フォーマットから行ってください。

## 電源の ON/OFF

1. HOLD (🌐) を右にスライドする

### HINT

- 電源を切る場合は、ZOOM のロゴマークが表示されるまで HOLD (🌐) をスライドし続けてください。
- HOLD (🌐) を左 (HOLD 側) にスライドしておくとキー操作を無効にすることができます。



### NOTE

- 「カードが挿入されていません。」と表示されたら、SD カードが正しくセットされているか確認してください。
- 「カードが書き込み禁止です。」と表示されたら、SD カードに書き換え保護がかけられています。ロックスイッチをスライドさせてライトプロテクトを解除してください。
- 「不正なカードです。」と表示されたら、フォーマットが不正です。初期化するか、別のカードを使用してください。

## 言語の設定（初回起動時）

ご購入後、はじめて電源を ON にした場合は、表示言語の設定画面が表示されるので、ディスプレイの表示言語を設定します。

1.    で言語を選択して、 を押す












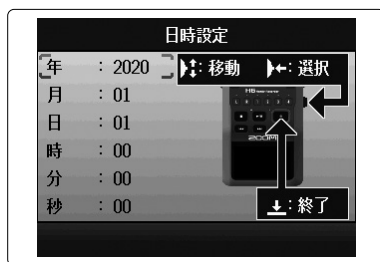
### HINT

言語の設定は、MENU > 言語選択 (Lang.) で、後から設定し直すこともできます。

## 日付／時刻の設定（初回起動時）

言語設定の後、日付／時刻の設定画面が表示されるので、日付時刻を設定します。

1.    で変更したい項目を選択し、 を押す
2.    で値を変更し、 を押す
3.  を押す

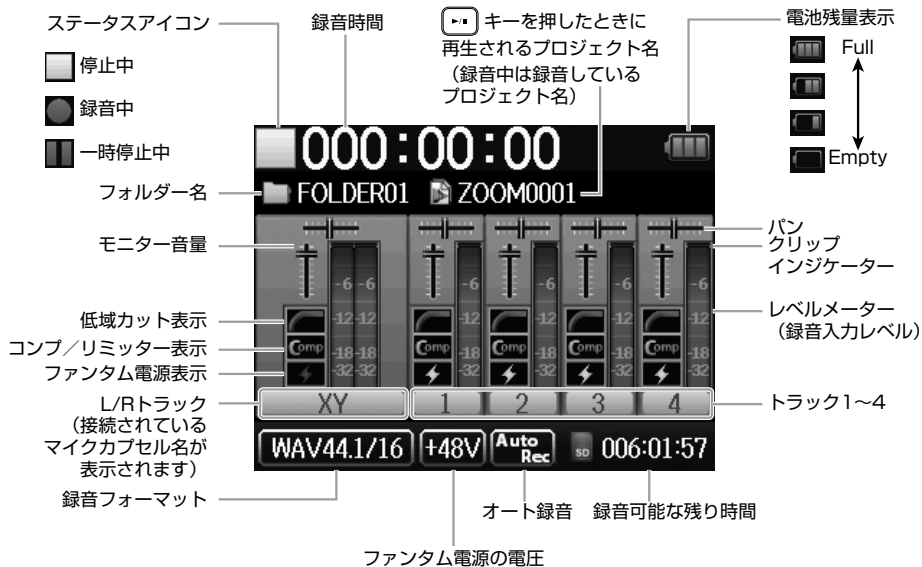


### HINT

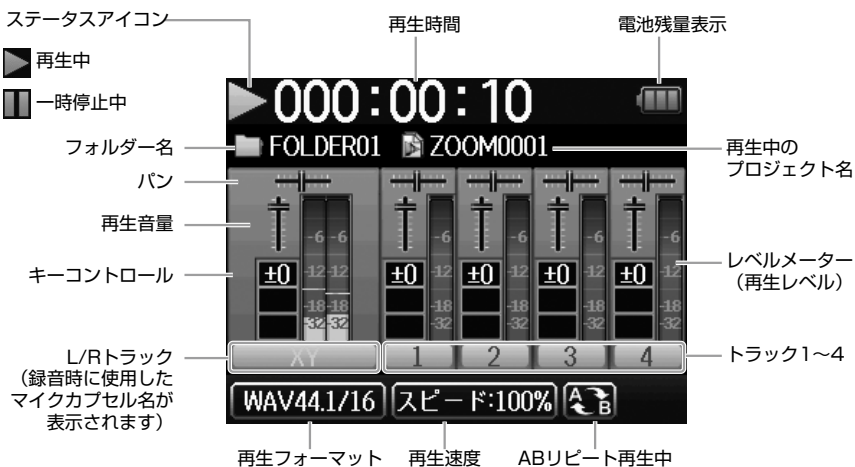
日付／時刻の設定は、MENU > システム設定 > 日時設定で、後から設定し直すこともできます。

# LCD 表示

## ■ ホーム／録音画面



## ■ 再生画面






# 録音の流れ

次のような流れで録音を行います。




## 録音前の準備

- 電池を入れる
- SD カードをセットする
- マイクカプセルを接続する
- インプット 1～4 にマイクや楽器などを接続する
- 電源を ON にする
- 録音フォーマットを設定する
- 入出力の設定をする

## 録音する

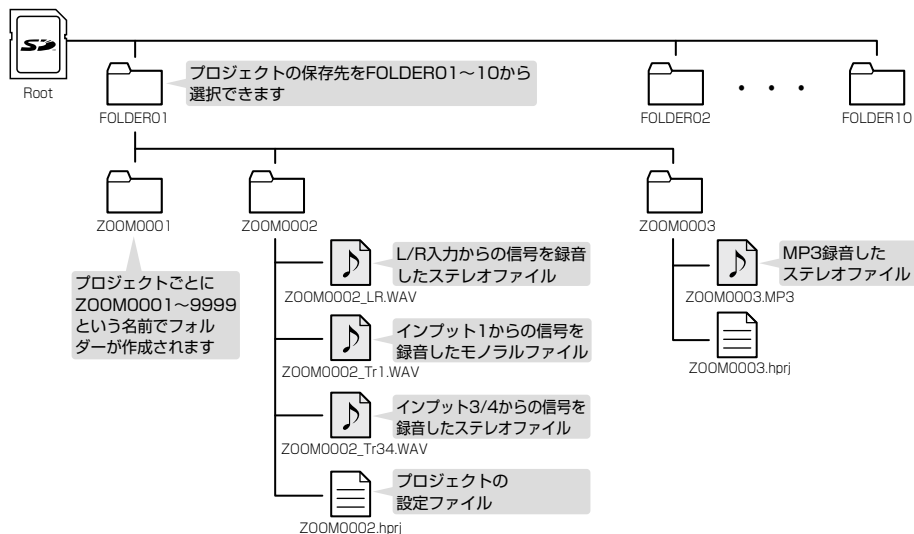
-  で録音開始、 で停止する  
マークを付けることもできます。
-  で一時停止します。

## 再生して確認する

-  で再生、 または  で停止する  
マークを付けた位置への頭出し、AB リピート再生、再生速度の変更、再生ピッチの変更、再生モードの変更、プロジェクト用ミキサーの設定などもできます。

# H6のフォルダー・ファイル構成


H6で録音すると、SD カードに次のようなフォルダー・ファイルが作成されます。  
H6では、録音・再生するデータの単位をプロジェクトと呼びます。





# 録音フォーマットの設定

音質やファイルサイズを考慮しながら、フォーマットを選択します。

## 1. MENU > 録音設定 > 録音フォーマットの順に選択し、設定値を選択する

 : MENU 画面を開く、戻る

 : 上下選択

 : 設定したい項目や値の確定



### NOTE

- 音質重視の高音質な録音には WAV フォーマットが適しています。
- MP3 フォーマットは、圧縮の際音質が低下しますが、ファイルサイズも小さくなる為、SD カードの容量を節約して大量に保存したいときなどに便利です。
- MP3 の場合は、モニター用ミキサーで調節したミックスバランスのステレオの MP3 ファイルがひとつだけ作成されます。



# 入出力の設定

## 入力ソースを設定する

インプット 1～4 に接続する機器に合わせて設定します。

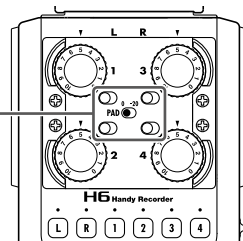
### ■ミキサーなど出力基準レベルが +4 dBu の機器の場合

#### 1. 該当する [PAD] スイッチを「-20」側にする

#### HINT


一般的なマイクを接続する場合は [PAD] スイッチを「0」側にしてください。


[PAD] スイッチ




### ■コンデンサマイクなどファンタム電源を必要とする機器の場合

#### 1. MENU > 入出力設定 > ファンタム電源 > オン / オフ の順に選択し、ファンタム電源を出力したいトラックを選択する

 : MENU 画面を開く / 閉じる

 : 上下選択

 : 設定したい項目や値の確定

#### 2. でオンを選択し を押す

#### 3. を複数回押してホーム画面に戻る



#### NOTE

- ファンタム電源に対応していない機器に接続する場合は、ファンタム電源をオンにしないでください。機器が破損することがあります。
- ダイナミック方式のマイクを接続する場合、ファンタム電源を供給する必要はありません。

#### HINT

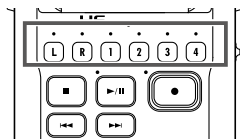
ファンタム電源の電圧は、+48V の他、+12V/+24V から設定することができます。

## トラックを有効にする

録音するトラックを L/R、1～4の中から選択します。

トラック L/R、1～4は、それぞれインプット L/R、1～4に対応しています。

1. ホーム画面で、録音したいトラックのトラックキーを押して、対応するトラックのLEDを赤色に点灯させる



### HINT

- トラックキーの1を押しながら2を押すと、トラック1/2はステレオトラックになり、SDカードにはステレオファイルが作成されます（ステレオリンク）。トラック3/4も同じようにステレオトラックにすることができます。
- ステレオリンクは、設定と同じ操作で解除することができます。L/Rトラックのステレオリンクを解除することはできません。
- 録音すると、トラックの設定に応じて次のようなファイルが作成されます。

録音したトラック	ファイル名	内容
L/Rトラック	ZOOMnnnn-LR	ステレオファイル
モノラルトラック	ZOOMnnnn_Tr1（トラック1の場合）	モノラルファイル
ステレオトラック	ZOOMnnnn_Tr34（トラック3/4の場合）	ステレオファイル

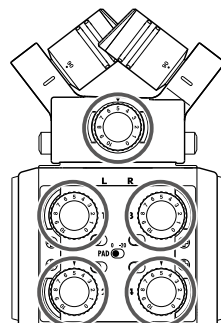
※ファイル名の「nnnn」はプロジェクト番号

- 1度の録音で作成されるこれらのファイルを、**H6**ではプロジェクトという単位で管理します。

## 入力レベル（トリム）を調節する

高音質で録音するために入力レベルを調節します。

1. 選択したトラックに対応する  を回して入力レベルを調節する



### HINT


- レベルメーターのピークレベルが-12 dB付近で維持されるように調節します。
- ヘッドフォンの音量は  を押して調節します。





# 入力信号のモニターバランスを調節する

入力信号をモニターするときの各トラックの音量やパンを調節できます。

## 1. MENU > 入出力設定 > モニター用ミキサーの順に選択する


 : MENU 画面を開く／閉じる


 : 上下選択

 : 設定したい項目や値の確定



## 2. 各パラメーターの設定値を変更する

 : カーソル移動／設定値の変更


 : 変更するパラメーターの選択／確定



パラメーター	設定範囲	説明
音量	ミュート、-48.0～+12.0 dB (0.5 dB 刻み)	音量を調節します。
パン	L100～センター～R100	左右の音のバランスを調節します。

## 3. を複数回押してホーム画面に戻る

### NOTE

-  を押すとモニター用ミキサーの ON/OFF が切り替わります。
- 録音フォーマットで WAV ファイルを選択した場合、調節した音量やパンはモニター信号にのみ有効になり、録音データには反映されません。
- 設定したモニターバランスはプロジェクトに保存され、再生時にも有効になります。また再生時に変更することもできます。




# 録音する

## 1. ホーム画面で を押す

録音が始まります。

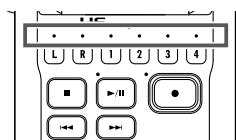


### ■録音中の操作

操作内容	キー操作
マークをつける	 を押す
一時停止	 を押す
停止	 を押す

### NOTE

- 一時停止を行ったときは、停止位置にマークがつきます。
- マークは1プロジェクトに最大99個つけられます。
- 録音中にファイルサイズが2GBを超えたときは、新しいファイルが同一プロジェクト内で自動的に作成され、録音は継続されます。このときファイル名の末尾に-0001（最初のファイル）、-0002（2番目のファイル）のように番号が付加されます。
- 大きな音が入力されると、トラックインジケータ（LED）が点滅しクリップインジケータが点灯します。クリップインジケータが点灯しないように入力レベルを調節してください。
- 録音中に点灯したクリップインジケータは録音の終了時に消灯します。









# 再生する

## 1. ホーム画面で を押す



再生が始まります。




## ■再生中の操作

操作内容	キー操作
再生プロジェクトの選択/ マーク位置の頭出し	  を押す
早送り／早戻し	  を長押し
一時停止／再生再開	 を押す
音量調節	 の+、-を押す
マークをつける	 を押す

### HINT

-   を長押しする時間が長いほど、早送り／早戻しのスピードも早くなります。
- 再生中にトラックキーを押すと再生（緑色に点灯）、ミュート（消灯）を切り替えることができます。

## 機能／設定一覧

ホーム画面で  を押すと MENU 画面が表示され、以下の機能／設定を使用できます。

項目	説明	
プロジェクト一覧	録音されたプロジェクトを選択／再生したり、録音データを作成するフォルダーを設定したりします。	
入出力設定	低域カット	空調や風雑音、ボーカルのポップノイズなどを軽減する設定を行います。
	コンプ/リミッター	低いレベルの入力信号を持ち上げ、高いレベルの入力信号を抑える設定を行います。
MS-RAW モニター	MS-RAW モードで録音中、Mid マイクの入力を Lch、Side マイクの入力を Rch からそのままモニターする設定を行います。	
ファンタム電源	インプット 1～4 へ供給するファンタム電源の設定を行います。	
プラグインパワー	XY マイクカプセルに搭載されている [MIC/LINE] 入力端子にプラグインパワーを供給する設定を行います。	
モニター用ミキサー	入力信号をモニターするときの各トラックの音量やパンを調節します。	
VU メーター	VU メーターを表示して入力レベルを確認します。	
ライン出力レベル	[LINE OUT] 端子の出力レベルを下げます。[LINE OUT] 端子の出力信号を、デジタル一眼レフカメラの外部マイク入力端子などに入力するときに使 用します。	
MS マトリックス	インプット 1/2 またはインプット 3/4 に入力した MS 方式のステレオマイクの信号を、通常のステレオ信号に変換する設定を行います。	
録音設定	録音フォーマット	録音ファイルのフォーマットを設定します。
	オート録音	入力レベルに応じて、自動的に録音を開始／終了させる設定を行います。
	プリ録音	時間をさかのぼって録音するプリ録音を設定します。
	バックアップ録音	L/R トラックの入力信号を、設定した入力レベルから 12 dB 低いレベルで別ファイルに録音する設定を行います。
	プロジェクト名	自動でつけられるプロジェクト名を設定します。
サウンドマーカー	録音開始時や終了時に、出力端子からトーン信号を鳴らす設定を行います。	
再生設定	AB リピート再生を行ったり、プロジェクトの再生方法を設定したりします。	
プロジェクトメニュー	プロジェクト情報	選択したプロジェクトの各種情報を確認します。
	ボイスメモ	プロジェクトに音声によるメモを付けたり再生したりします。
	マークリスト	録音したプロジェクトのマークを一覧表示します。
	プロジェクト用ミキサー	入力信号をモニターするときの各トラックの音量やパンを調節します。
	再生速度	1/2 倍 (50%) ～ 1.5 倍 (150%) の間で再生速度を変更します。
	バックアップファイル	通常のファイルに代わってバックアップ録音したファイルを再生するかどうかを設定します。
	編集	プロジェクト名の変更／音量のノーマライズ／分割／トリミングを行います。
	追加録音	すでに録音済みのプロジェクトに対して、後から録音を追加します。
	ミックスダウン	録音したプロジェクトをステレオファイル (WAV または MP3) にミックスダウンします。
	再構築	プロジェクトに必要なファイルがなかったり壊れたりしている場合に再構築します。
	ゴミ箱	不要なプロジェクトを削除します。
ツール	入力信号のチューニングや、録音中のガイドリズムの設定を行います。	
システム設定	日時設定	日付／時刻を設定します。
	バックライト	バックライトの省電力設定やディスプレイの明るさの調節を行います。
	電池設定	電池残量を正確に表示するために、電池の種類を設定します。
	バージョン情報	ファームウェアのバージョンを表示します。
	初期化	工場出荷時の設定に戻します。
言語選択 (Lang.)	ディスプレイに表示する言語を設定します。	
SD カード	SD カードの空き容量を確認／初期化／性能のテストを行います。	
USB	パソコンと接続して、SD カードリーダーやオーディオインターフェースとして使用します。	

※各設定の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。





株式会社ズーム

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3  
zoomcorp.com